

# 令和5年度 学校運営連絡協議会実施報告書

## 1 組織

- (1) 名 称  
都立本所工科高等学校 学校運営連絡協議会（定時制課程）
- (2) 事務局  
副校長＝事務局長、主任教諭 計2名
- (3) 内部委員  
校長、副校長、経営企画室長、教務主任、生活指導主任、進路指導主任 事務局 計7名
- (4) 協議委員  
近隣住民代表…小林 俊昭  
葛飾区立葛美中学校長…杉田 善明  
株式会社ツバサ翼学院代表取締役学院長…芦澤 唯志  
金町消防署警水元出張所長…平野 光一  
保護者代表…矢部 日草代

## 2 令和5年度学校運営連絡協議会の概要

### (1) 学校運営連絡協議会（第1回～第3回）

#### 第1回 令和5年6月29日（木）（開催）

出席者 内部委員7名、協議委員4名

- (1) 委員の委嘱及び各委員紹介
- (2) 各分掌より報告
  - ・教務部主任…加藤 宇志
  - ・生活指導部主任…佐竹 正
  - ・進路指導部主任…木城 哲治
- (3) 質疑（資料確認書の提出）

#### 第2回 令和5年11月24日（金）（開催）

出席者 内部委員7名、協議委員2名

- (1) 各分掌より報告
  - ・教務部主任…加藤 宇志
  - ・生活指導部主任…佐竹 正
  - ・進路指導部主任…木城 哲治
- (2) 学校評価アンケートの実施について
- (3) 質疑（資料確認書の提出）

#### 第3回 令和6年3月6日（水）（開催）

出席者 内部委員7名、協議委員3名

- (1) 各分掌より書面による報告
  - ・教務部主任…加藤 宇志
  - ・生活指導部主任…佐竹 正
  - ・進路指導部主任…木城 哲治
- (2) 学校評価アンケート結果報告について
  - ・集計結果書面報告
- (3) 質疑（資料確認書の提出）

### (2) 評価委員会（第1回～第2回）

第1回 令和5年6月29日（木）（開催） 内部委員2名、協議委員4名  
学校評価の基本方針の確認、今年度の学校評価の実施に向けた検討

第2回 令和5年11月24日（金）（開催） 内部委員2名、協議委員3名  
今年度の学校評価アンケートの検討

### 3 学校運営連絡協議会による学校評価について

統合型学習支援サービス (Microsoft Office 365) 活用したアンケートを実施した。

#### (1) 学校評価の観点

・学校の理解を得られているか ・学校の意欲が通じているか ・学校への意見や要望を聴取すること

#### (2) アンケート調査の実施時期・対象・規模

・12月 全校生徒	対象： 32人	回収： 29人	回収率：90.62%
・12月 保護者全員	対象： 32人	回収： 11人	回収率：34.37%
・12月 地域・住民	対象： 32人	回収： 21人	回収率：65.62%
・12月 教職員	対象： 16人	回収： 15人	回収率：93.75%

#### (3) 主な評価項目 (生徒・保護者・教職員)

##### ① 本校の学習指導

- Q1 本校は基礎・基本を重視した授業を適切に行っている。
- Q2 本校は「ものづくり」の授業を熱心かつ丁寧に行っている。
- Q3 授業では生徒全員に理解させるよう、丁寧な指導法ができています。
- Q4 本校では補習や補講の取り組みをよく行っている。

##### ② 本校の生活指導

- Q5 本校は生活指導をきめ細やかに行っている。
- Q6 本校の給食は栄養・味覚・費用等全般的によく考えられていることを知っていますか。
- Q7 本校の生徒は社会のルールやきまりをよく守っている。
- Q8 本校の生徒は行事や部活動等をよく頑張っている。

##### ③ 本校の進路指導

- Q9 本校の進路指導では企業体験 (インターンシップ) をよくやっている。
- Q10 本校は資格取得や検定合格のための指導をよく行っている。
- Q11 本校は生徒の進路希望実現のための指導をよく行っている。

##### ④ 本校の保健衛生指導等

- Q12 本校の安全や保健衛生教育のための行事等は適切に行われている。
- Q13 本校の防災意識を高めるための防災教育は充実している。
- Q14 本校はスクールカウンセラーによる心や身体の相談体制が充実している。

##### ⑤ その他の項目

- Q15 本校はいじめ防止や体罰防止の取り組みを適切に行っている。
- Q16 本校では生徒が地域と連携した奉仕活動をよく行っている。
- Q17 本校では保護者と連携した教育活動をよく行っている。
- Q18 本校の施設・設備は充実している
- ★ 地域奉仕活動として、生徒が地域清掃をしていることを知っていますか？
- ★ 一般の方々に公開講座を実施していることを知っていますか？
- ★ 文化祭など学校行事を見学したことがありますか？
- ★ 本校は、地域の皆様のニーズに応えていると思いますか？
- ★ 本校で行う学習指導で、特に重点を置いた方が良いことは何でしょうか？
- ★ 本校で行う生活指導で、特に重点を置いた方が良いことは何でしょうか？
- ★ 地域の皆様が本工に一番に期待していることは何ですか？

(★は地域住民の皆様にお答えいただいた内容です。)

#### (4) 評価方法の検証及び妥当性

アンケートは、案内文に掲載したQRコードをスマートフォンなどで読み込んだ回答を集約できる Microsoft Forms (以下、Forms) で作成し、令和5年12月中旬に実施した。生徒はホームルーム時などに Formsによる回答とした。保護者への調査については、生徒経由で案内文と紙面を配布し、Formsによる回答を依頼した。教職員にはFormsによる回答をメールで依頼し回答を受けた。地域住民の皆様からは昨年度は学校運営連絡協議会にお集まりいただいた際に、その場で書面にて回答を依頼し、32件の回答を得られた。今年度は21件と振るわなかった。

生徒、保護者、教職員に関してはアンケートの集計を「当てはまる…4点」、「やや当てはまる…3点」、「あまり当てはまらない…2点」、「当てはまらない…1点」として、平均点を取ることにより、傾向を分かりやすくした。つまり、平均点の結果が4.0に近ければ「当てはまる」と評価が高い傾向がわかる。

地域住民に関しては、地域との関わりに重点を置いた設問に厳選し、選択肢を充実させ傾向を読み取ろうと試みた。

## (5) 評価結果の概要

### <生徒>

昨年度と比較し肯定的な回答は1項目減少して18項目中7項目となり、平均はやや下がった。回収率は退学予定の生徒を除けば100%である。授業アンケートなどでも利用しているQRコードを使用したFormsアンケートの回答に慣れ親しんでいる傾向がみられる。

Q8「本校の生徒は行事や部活動等をよく頑張っている」からQ12「本校の安全や保健衛生教育のための行事等は適切に行っている。」のような授業以外の指導場面でやや平均値が上がっている一方、教職員の平均点が高いQ1からQ7の授業や指導に関する場面では、少数ではあるが否定的な回答で平均値が下がっている傾向がみられる。生徒から信頼は得られているが、通常授業に関して取り残されていると感じている生徒がいないか懸念が残る。「多様な子供たちを誰一人取り残すことのない、個別最適化された学び(※2)」の実現のためにあらためて確認が必要である。

Q17 保護者と連携した教育活動の平均値が低く、保護者との連絡・情報共有手段に工夫が必要な可能性がある。

※2019年12月中央教育審議会 初等中等教育分科会「新しい時代の初等中等教育の在り方 論点とりまとめ」より

### <保護者>

保護者の全体の傾向としては、平均で下落した項目も上昇した項目も9項目あり、前年度全体平均3.55から変わらなかった。

ペーパーレス化を目指し紙での依頼をやめ、すべてFormsでオンライン受付にしたところ、保護者の回答率が下がった。原因として、告知の方法やネット環境が無いなどの環境を考慮し、バックアップの代替え手段として紙での回答も受け付けるべきであった。

Q6「本校の給食は栄養・味覚・費用等全般的に良く考えられて提供されている。」の平均点が3.18と低い。保護者に献立等をお知らせする手段があってもいいかもしれない。Q9「本校の進路指導では企業体験(インターンシップ)をよくやっていると思う」の平均点が向上した。インターンシップに参加している4年生の生徒は少ない(令和4年度は5名)が、全校生徒が参加し活況だった年2回のインターンシップ報告会などで生徒から保護者に、その様子が伝わっているのかもしれない。

### <教職員>

新型コロナウイルス5類移行の影響で、学校行事に関する項目や対外的な活動への評価の上昇が期待されたが、昨年より平均値が上昇している項目が3項目なのに対して下落した項目が15個もあり、全体として低調で注意が必要である。

Q7「本校の生徒(自分)は社会のルールやきまりをよく守っている。」の平均点が昨年度に引き続き低い。基本的な生活習慣が身に付いていない生徒がいることが伺える。Q9「本校の進路指導では企業体験(インターンシップ)をよくやっている。」が3.07と生徒や保護者の評価に対して低く、確認が必要である。

Q14「本校はスクールカウンセラーによる心や身体の相談体制が充実している。」に課題があると思われる。都で導入が決まり、スクールカウンセラーなどに相談希望者をつなぐオンラインアンケートシステム「コンディショニングレポート」などの活用も一考である。Q17「本校では保護者と連携した教育活動をよく行っている。」が昨年度に引き続き低い。PTA活動の低調も課題であるが、保護者との連絡・情報共有手段に工夫が必要な可能性がある。

### <地域住民の皆様>

設問数に関しては、地域の皆様に関連する項目を選定し、他のアンケート対象より大幅に少なくしているが、一昨年度はFormsによる回答依頼を行ったものの回答を得ることができなかった。昨年度は学校運営連絡協議会で地域住民の皆様にお集まりいただいた際にその場で記入のご協力をいただき、0件から100%の大幅な回答率の上昇につながったが、本年度はやや減少となった。

夏期、冬季に実施の「Q1 地域清掃」は大幅に認知度が上がった。「Q2 公開講座」について「知らない」「参加していない」が多く、次にあげる自由意見でもどこを見ればいいのか伝わっていない様子が見られる。活動広報方法の検討が必要と思われる。「Q3 文化祭の見学」は新型コロナウイルス5類への移行に伴い久しぶりの実施となり、昨年よりやや増加した。「Q7 本工に期待されていること」として、貧差で「文化の拠点として」が最も多かった。

#### <全体>

質問形式の違う地域住民以外で昨年度の各項目の平均と比較すると、↑（上昇）6項目、→（横這い）1項目、↓（下降）11項目と、↓（下降）が増加する結果となった。

#### (6) 学校運営連絡協議会及び学校評価を活用した教育活動の改善事項

- ・今年度は、保護者・教職員の学校評価アンケート回収率が低かったことから、周知の方法や時期などを工夫したいと考える。
- ・地域と連携した防災訓練の実施などに取組み、地域から頼られる学校を目指す。
- ・学校行事や授業風景のPRに努めたいと考える。そのためにも、様々な手段を用いて、広報活動に取り組む。

#### (7) 質問項目の検討

生徒および保護者への質問については、学校全体としての質問なのか、個人としてなのかを明確に周知した上で回答させる必要がある。

#### 4 協議委員アンケートについて（5名中3名回答）

- 「学校が良くなった」と考える協議委員の割合

協議委員人数 5人のうち回収枚数…4枚

そう思う	多少そう思う	どちらとも言えない	あまりそう思わない	そう思わない	分からない	無回答
		3				

#### 5 次年度への課題

##### (1) PR方法の改善と充実

保護者・地域に対して、授業や学校行事の紹介や教育活動のPR方法を検討する。

##### (2) 学校評価アンケートの改善

保護者・教職員の回収率が上がる工夫を検討する。